

事務事業評価における総括

部 局 名	市民安全部	記入責任者	山田 憲
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>市民安全部の業務計画に位置付けた 21 事業のうち、19 事業を S 評価、1 事業を A 評価、1 事業を C 評価としていることから、部全体として概ね順調に進捗し、成果が上がっています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>各課の業務計画の優先順位の上位に位置付けられている事業については、それぞれ次のとおり成果と課題が認められます。</p> <p>防災対策課は、災害対策推進事業は、目標を達成したものの、災害対策本部運営訓練（図上訓練）や統括調整部機能別訓練を実施し、各部応急対策活動マニュアルについて十分な検証まで実施できませんでしたが、訓練を通じて取り組むべき方向性が明らかとなり、新たな取り組みに着手しました。地域防災計画推進事業は、指標こそ達成することはできませんでしたが、新たに広域避難場所の検証作業に着手し、29 年度にかけて検証結果をまとめることで、本市の課題である延焼火災対策の強化を図ります。</p> <p>安全対策課は、防犯灯や交通安全に関する事業には職員の注力と合わせて非常勤嘱託員等の活用により、十分な成果を上げることができております。</p> <p>市民相談課は、犯罪被害者等の支援について、前年下半期の条例施行を受け、通年を通した支援体制を確立しました。これにより犯罪被害等に遭われた方々が、一日でも早く普段の生活に戻れるよう、庁内をはじめ関係機関とも連携し支援に取り組んでいます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については継続して進めていきますが、引き続き、政策・施策目標の達成に向けて、より効率的かつ効果的な事務執行、事業の整理・見直しをしていく必要があります。</p> <p>具体的には、各課次のとおり進めてまいります。</p> <p>防災対策課では、29 年度より政策担当を設置し、人員を集中的に配置することで、地域防災計画推進事業の着実な推進を図ります。</p> <p>安全対策課では、引き続き事務効率をさらに高めるため、防犯灯 L E D 化による防犯対策事業の事務改善に取り組めます。また、地域防犯活動推進事業及び交通安全教育事業については、現状を踏まえ、関係機関と連携して高齢者への対策を進めます。</p> <p>市民相談課では、市民の悩みや不安を解消するため、市民等から寄せられた相談に寄り添い、安心して日常生活が営めるよう、引き続き、相談し易い一般相談、専門相談などの相談体制を構築し、相談者の課題の解決を図っていきます。</p>			